

文化の花開く 芸術の秋 総合文化祭



バンド演奏で始まった総合文化祭ステージ部門洞爺地区芸能発表会

11月3日の文化の日を中心に洞爺湖文化団体協議会（越前谷邦夫会長）の総合文化祭が、虻田支部、洞爺支部それぞれの主催で開催され、日頃の活動の成果を披露しました。

展示部門は、11月3日～5日まで、母と子の館と洞爺総合センターを会場に開催。会



菊の展示に見入る来場者（虻田地区）

場には、アートフラワー、パッチワーク、書道、茶道、生花などの同好会の作品や大切に育てられた菊などが置かれ、その出来栄えに来場者は食いつけるように見入っていました。

ステージ部門は、虻田支部が10月27日、28日の両日あぶたふれ合いセンターで、洞爺支部は11月23日洞爺総合センターで開催、カラオケ、合唱、舞踊、民謡、津軽三味線、琴などの同好会の皆さんが熱演し、会場を大いに沸かせました。

その他琴のアンサンブルや町民吹奏楽団の定期公演、囲碁大会などが関連のイベントとして行われ、芸術の秋を楽しみました。

会場いっぱい響く歌声 洞爺湖芸術文化 フェスティバル開く

第14回芸術文化フェスティバル（主催同実行委員会）が、11月9日洞爺湖文化センターで開催され、合唱や器楽演奏など、学校での練習の成果を父母らに披露しました。

同フェスティバルは、洞爺湖周辺の3町村の児童生徒が集まり開かれてきましたが、昨年合併で洞爺湖町と壮瞥町の2町になり、今年は洞爺湖町内の小中高生のみ参加となりました。

当日は、虻田小学校の「コンドルは飛んで行く」の器楽演奏と「ベストフレンド」の合唱で幕開け。洞爺中学校、とうや小学校の合唱、洞爺湖温泉中学校の合唱と和太鼓演奏がそれに続きました。

休憩をはさんで、虻田高校吹奏楽部の演奏からスタート。洞爺湖温泉小

学校の合唱、虻田中学校の合唱と舞踊が発表され、最後に虻中、温中、洞中、虹高の生徒ら合同による合唱が行われ、会場全体を熱気に包み込みました。



フィナーレを飾った合同合唱